第1回塩竈市立学校規模適正化等検討委員会会議録

◆日時 令和6年7月11日(木) 午後6時00分～午後7時15分

◆場所 壱番館庁舎4階視聴覚室

◆出席委員

会長	高橋 仁	副会長	佐々木 利佳子
委員	佐藤 英	委員	堀内 瑞
委員	高橋 陽香	委員	江湖 貴恵
委員	高橋 理	委員	今野 元博
委員	本間 良	委員	伊藤 咲那

◆事務局

教育長	黒田 賢一	教育部長	末永 量太
教育総務課			
次長兼課長	櫻下 真子	課長補佐兼教育総務係長	鈴木 亮平
学校教育課			
参事兼課長	松崎 和佳子	副参事兼課長補佐	佐藤 和夫
主幹兼学校教育係長	津田 康之	主事	鈴木 卓哉
生涯学習課			
主査	千田 孝徳		

◆次第

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 委嘱状交付
- 4 会長・副会長の互選
- 5 諮問
- 6 報告
  - (1) 本市教育を取り巻く環境について
    - ① 本市教育が目指す方向性について
    - ② 児童生徒数の現状と推移について
    - ③ 学校施設の現状について
  - (2) 学校規模の適正化等に係るこれまでの取組について
  - (3) 検討委員会の設置目的・所掌等について
  - (4) 検討委員会開催のスケジュールについて
- 7 その他
  - (1) 質疑応答・意見交換
  - (2) 次回開催日時に係る調整

8 閉会

1 開会 午後6時00分

2 教育長挨拶

黒田教育長より挨拶

3 委嘱状交付

黒田教育長より各委員へ委嘱状を交付

4 会長・副会長の互選

互選により、高橋（仁）委員を会長に、佐々木委員を副会長に選任

5 諮問

事務局（黒田教育長）より、委員会（高橋会長）へ諮問

6 報告

松崎学校教育課長から、以下のことについて資料に基づき報告

(1) 本市教育を取り巻く環境について

- ① 本市教育が目指す方向性について
- ② 児童生徒数の現状と推移について
- ③ 学校施設の現状について

(2) 学校規模の適正化等に係るこれまでの取組について

(3) 検討委員会の設置目的・所掌等について

(4) 検討委員会開催のスケジュールについて

7 その他

(1) 質疑応答・意見交換

〔主な質疑〕

委員 令和4年度における検討会で出された意見をまとめた資料や令和5年度における視察の結果をまとめた資料は次回以降提供いただけるのか。

事務局 令和4年度にいただいた意見に関する情報や令和5年度の視察結果をまとめた資料については、次回お伝えする。

委員 学校規模適正化等を検討するにあたって、人口を増やしていくことも同時に検討しなければならないのではないか。

事務局 基本的にそういった意見をいただくのは構わない。ただし、人口増加策の検討は教育以外の様々な分野が複層して成り立っているため、市長部局との検討が必要だという点をご理解いただきたい。

委員 令和4年度と令和5年度の学校の在り方検討会のメンバーは、令和4年度も令和5年度も同じメンバーか。また、令和5年度のメンバーから継続で今回委員になられている方はいるか。

事務局 令和5年度については「学校の在り方検討会」は組織していない。また、今回のメンバーで令和4年度に委員になっていた方はいない。

委員 この会議でどの程度の成果を求められるかを聞きたい。
また、どこかのタイミングで教育部以外の課や子どもたちの意見を聴取し、その意見を共通認識として持った上で話し合いをすべきではないか。

事務局 今回はあくまで議論のたたき台を作るための会議である。様々な方向性や可能性を含めた案を作るための会議をしていただきたい。たたき台を作って終わりではなく、これを基に市民の皆様や議員の皆様と議論していく予定である。
当委員会でも検討いただいた内容については、議会には協議会で、当局には庁議で報告する。市長部局や議会側の意見は、適宜この場で報告させていただきたい。
児童生徒の意見を聞くことについては、色々な場で中学生等が集まる機会があるので、そういうところで意見を取りたいと思う。

委員 子どもの権利条約では、子どもも自由に意見を述べることができる。広く意見を聴取できるような取組をお願いしたい。

委員 第1回検討委員会からの意見として、「子どもたちがどういう学校にしたいか」といった意見を聞き取る機会を設けることを要望する。

委員 学級数の標準（小学校：2学級以上3学級以下、中学校：4学級以上6学級以下）に関して、「この標準は特別な事情があるときはこの限りではない」という記載があるが、特別な事情という点を詳しく教えていただきたい。

事務局 子どもたちが少ない地域でも、柔軟で弾力的に運営ができるという考え方である。

- 委員 検討内容は議会へ説明するだけでなく、市民の方にも情報提供をすることだが、その方法について教えていただきたい。
- 事務局 議論の中身や方向性については適宜市民の方々に開示して、意見を伺いたいという思いがある。
市民の方々が集まる機会があれば意見を聞いたり、市の公式 SNS や広報紙を使って意見を伺いたいと考えている。
- 委員 自分が学校に通っていた 50 年以上前の頃の状況と現在の状況は大きく変わっている。持続可能な学校をまちづくりと対になって考えていくことになると思うが、こんな学校を塩竈市に作ってもらえたら…という願いを中心としつつ、先を見据えた議論をしていきたいと思っている。
- 委員 全国的に少子化が浸透する中で、塩竈市でも学校規模の適正化を検討する時が来てしまったのかと残念に思う。
大規模校、小規模校それぞれメリット、デメリットがあると思うので、その点を考慮・精査しながら、規模適正化に取り組んでいければと思っている。塩竈市にとってちょうどいい学校の規模、学校の配置を一緒に検討していきたい。
- 委員 今までの話の中で「子供たちの意見を」という意見がたくさん出て、とても嬉しく思う。子どもたちなりの目線で意見を寄せてきてくれると思うので、ぜひその意見の集約をお願いしたい。
この検討委員会に関しては、これまでの経験を基に、市民の皆さんの意見をよく聞きながら進めていただきたい。
- 委員 令和 4 年度の「在り方検討委員会」では、学校レベルの意見交換会に出席した。他の学校がどのような意見を出していたのかはとても興味深く思っている。
規模の適正化を考えることは、まちづくりにつなぐと考える。これまで出されてきた意見を踏まえながら、より良い塩竈市を作っていければ思う。
- 委員 子どもたちは学校に行くことをとても楽しみにしていて、期待を持っていると思う。子どもたちに「そういうのいいね」とか、保護者の方にも「それは安心だね」と言ってもらえるような方向になるように考えていきたい。

委員 塩竈には歴史や文化、物産など素晴らしいものがたくさんある。これらを生かし、塩竈市の人口増につながる学校の在り方や方向性について考えていけるよう尽力する。

委員 塩竈市がまちづくり基本理念でも目指している「楽しい塩竈」という言葉があるが、「楽しい」の一言で小学校を作る、中学校を作るとするのは非常に難しい。
意見が衝突することもあるかもしれないが、本音で議論し、望ましい方向性を探っていきたいと思う。

委員 私には小学校入学前の子どもがおり、他人ごととは思えない。規模の適正化の検討に携わることができるのは光栄だと感じている。それぞれに思いを「良い形」にして残したい。

委員 教育に関する知識は、勉強中であるが、皆さんの意見を聞きながら私自身も勉強させていただいたり、自分が小学校や中学校に通っていた時のことを思い出したりして、自分の意見を発言していければ良いと思っている。

委員 それぞれに学校のイメージがあり、これまでの歴史、伝統、文化、それぞれ学校が築いてきたものを大事にしながら、未来に向けてどのような学校であるべきかということを議論していきたい。

次回、資料6ページに記載があるように二中が改修中ということだが、どのくらいの費用がかかったのか、資料として用意していただきたい。
今回は、これまでの様々な意見について、もう一度皆さんで確認しながら議論したいと思う。できれば、次回の資料は事前に各委員に送っていただき、目を通した上で委員会において意見交換、議論を行いたい。

※市長現着につき、市長挨拶

(2) 次回開催日時に係る調整

第2回の開催は、令和6年8月20日（火）に決定

8 閉会 午後7時15分